

薬剤科ニュースレター 2023年11月・12月

合併版 No.30



第91回薬事審議委員会結果報告

11月24日に行われました第91回薬事審議委員会の結果をご報告いたします

医薬品供給に関する報告につきましては、多種多用の薬品が出荷調整または停止となっており、使用できる薬剤に限度があることを報告いたしました。中でも感冒薬、鎮咳薬および抗生物質製剤の制限が厳しく入手困難な状態であることを了承いただきました。

新薬として、アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」(商品名レケンビ：エーザイ(株))の薬価(公定価格)が12月下旬までに決定し、年内にも保険診療で使えるようになる見通しであることをご報告いたしました。

採用医薬品の規格追加として、『ラツータ錠®』(住友ファーマ株式会社)〈統合失調症・双極性障害治療薬〉の80mgを了承いたしました。現在採用の20mg錠と40mg錠に加えて統合失調症の治療においては80mg錠を使用することにより、治療効果面とコスト面の双方に有用であると判断されました。

また採用中止医薬品としては、ルーラン錠®4mg(住友ファーマ株式会社)〈統合失調症治療薬〉が直近1年間において使用成績のないため中止とすることとなりました。加えてレボトミン錠50mg(田辺三菱製薬(株))〈統合失調症治療薬〉はPTP包装がすでに製造中止され、今回バラ包装も出荷停止のため入手できない為、採用を中止することとなりました。レボトミン®は5mg錠・25mg錠および10%顆粒剤で対応することといたしました。

統合失調症治療薬・シクレスト舌下錠®(アセナピン)に関する使用調査

当院で治療されておられるシクレスト舌下錠®服用患者に、治療における満足感等のアンケート調査を行いました。

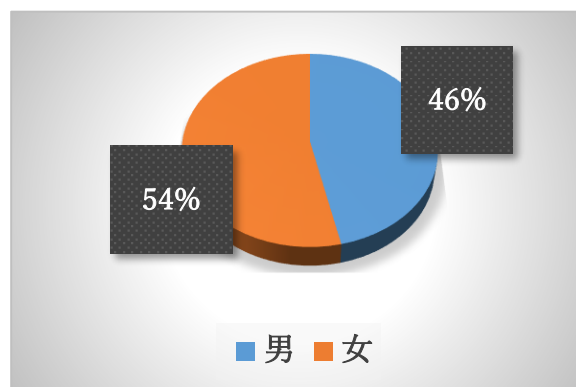
①アンケート調査における患者背景など

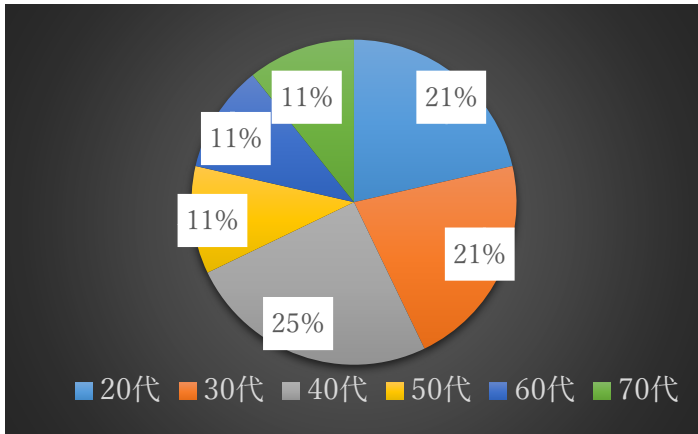
アンケートのご協力いただいた方は28名で男女比はほぼ同じでした

平均年齢：44.5±14.4

最低年齢：20歳

最高年齢：78歳



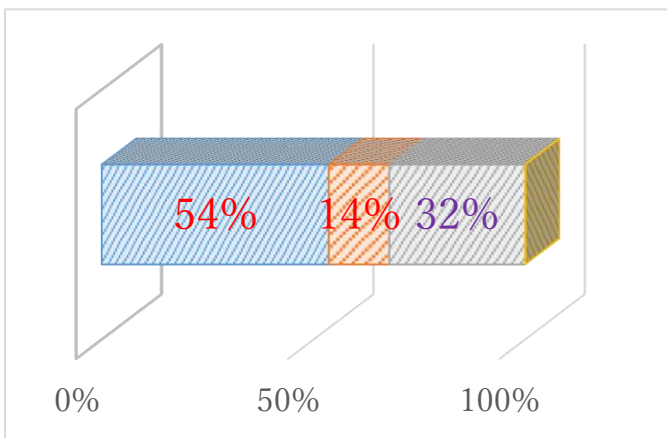


比較的若い方々の使用が多かったです

アセナピン平均投与量：14.4±8.1mg

等価換算(CP換算)は約576mg

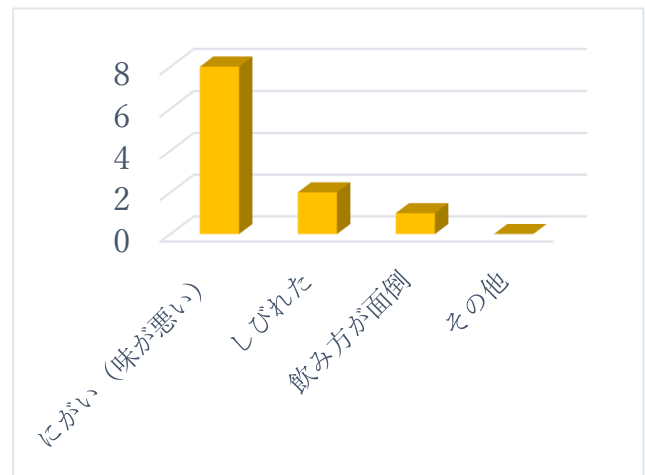
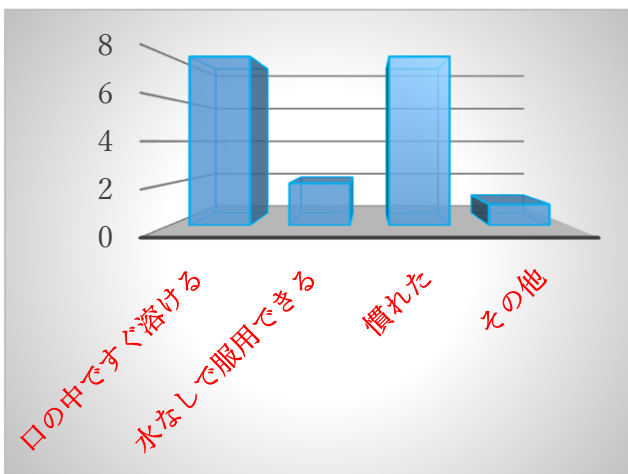
②服用度合い



服用に関して問題はない、と回答された方は54%、良くも悪くもなかった(普通)、と回答された方は14%でした。

一方服用しにくい、と回答された方は32%で、とても服用しにくい、と回答された方はいらっしゃいませんでした

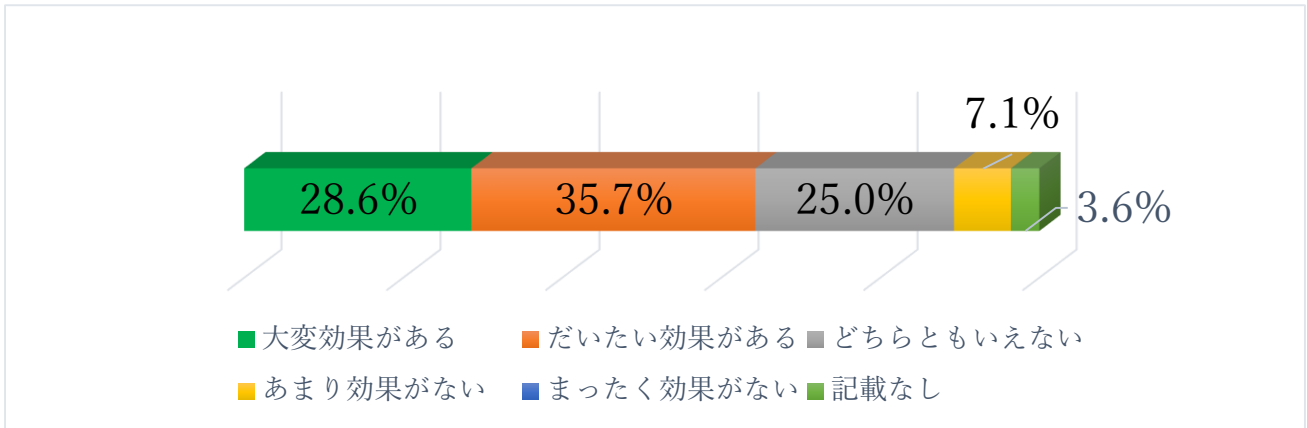
③服用に問題ないと回答された理由、服用しづらかった理由



舌下錠という特殊さは気にされることはない、と回答された方がほとんどでした。

一方服用しづらかった方の理由は口腔内の異常に起因する事象でした

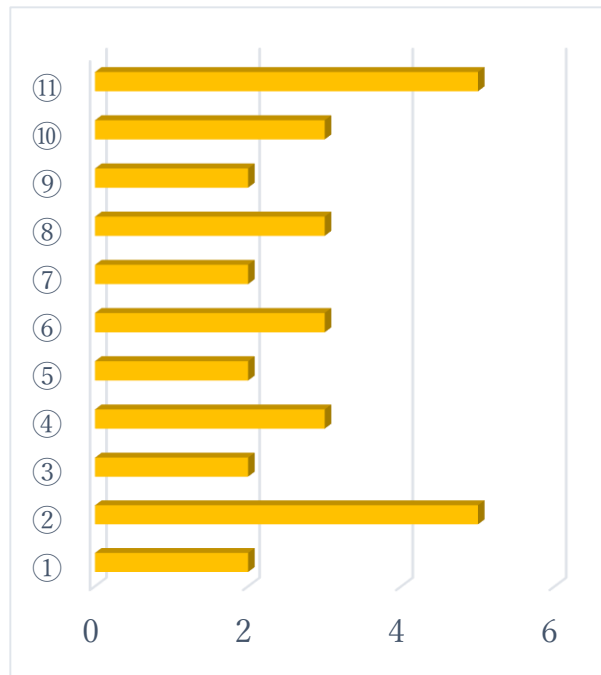
④効果判定



薬の効果を実感されている方は、約 65%でした

⑤体の調子で気になること

- ⑪ その他
- ⑩ (女性) 生理が不規則/止まった
- ⑨ 性欲がわからない
- ⑧ 食欲が増した/体重が増えた
- ⑦ 便秘
- ⑥ すぐにのどがかわく
- ⑤ からだがこわばる/手がふるえる
- ④ からだがだるい
- ③ そわそわする
- ② 日中ぼんやりする/眠くなる
- ① 眠れない



不調訴えは眠気・傾眠が一番多く、副作用との関連を調査する必要があると考えました

★編集後記

今回紹介しましたシクレスト舌下錠®の服薬アンケート結果は、11月に行われました。統合失調症の家族会におきましてもご紹介いたしました。服薬が特殊な製剤でも、高価を実感できれば治療に有効であることをご理解いただきました。実際に見たり聞いたりしてみないとわからないことがたくさんあります。アンケート結果から得られた患者さんの声に耳をこれからの薬物治療に生かせればと考えます。



薬剤科 野村明生